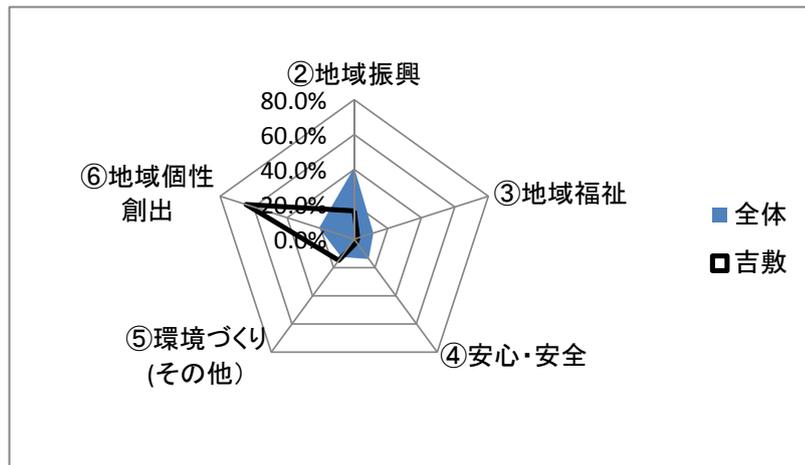


吉敷地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成28年度)

■地域の情報

地域人口	14,881人	自治会数	16
世帯数	6,164世帯	自治会加入率	84.07%

※数値は、平成29年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	11,902,000 円
交付金決算額	10,610,281 円
その他収入	44,286 円
交付金決算額／配分額	89.1%

各分野の決算

①協議会運営	5,092,792 円
②地域振興	617,117 円
③地域福祉	80,562 円
④安心・安全	82,160 円
⑤環境づくり(土木工事)	1,723,000 円
⑤環境づくり(その他)	567,280 円
⑥地域個性創出	2,447,370 円
決算総額	10,610,281 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

地域のテーマである「笑顔あふれるふれあいのまち」の実現のため、平成27年度に組織改編を行い地域づくりに取り組む協議会や特別委員会等の強化を図りながら、地域課題の解決のための事業を実施した。

■総括

平成27年度から専門部会に代わる地域づくりに取り組む組織を立ち上げ、それぞれの体制強化を図りながら、地域課題の解決に向けた事業に取り組み、約2年が経過した。

その中でも、地域住民と地域づくり関係団体等から委員を出し合い広報委員会を設立し、地域広報紙やウェブサイトの充実に取り組み、地域住民からは一定の評価が得られている。今後、町内会・自治会未加入者にも広報紙を見ていただけるよう、配布先の拡大などを検討していく。

また、報道等でも紹介された地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」については、遠方からも問い合わせがあるなど好評を得ている。

■分野別事業名

① 協議会運営	協議会運営
② 地域振興	ふれあいあいさつ運動、地域情報発信事業、成人式思い出づくり、交流事業・地域づくり講演会
③ 地域福祉	ふれあいスポーツ交流事業
④ 安心・安全	自主防災組織づくり
⑤ 環境づくり	土木工事、カーブミラーの充実、交通安全施設の充実、ホタルが飛び交うふるさと吉敷
⑥ 地域個性創出	コミュニティ活性化事業、ふるさと伝承事業、各種団体支援事業、旧出張所公民館跡地利用、観劇鑑賞交流事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	ふるさと伝承事業	決算額	854,000円
	目的	地域の歴史・文化の継承、紹介		
	実施内容	良城小学校児童の「吉敷の宝」をとりまとめ、取材等を行い、地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」を編集・刊行した。また、古文書の読み方を学びながら、地域の歴史を研究する「古文書入門講座」を引き続き開催した。		
	実施時期	通年		
	参加人数	児童からよせられた「吉敷の宝」1200件、古文書入門講座各回約15人		
	成果	ガイドブックは1000部作成し、500部は無償で学校などに配布し、500部は希望者に有償で提供する。ウェブサイトに「吉敷さんぽ」と「四方山話」を掲載した。		
	評価	地域の歴史や文化、自然などについて知り、散策するためのガイドブックが作成されたことにより、地域内外に対して広く吉敷地域を紹介することができる。		
	今後に向けて	ガイドブックを活用した歴史・文化などの各種講座の開催や地域散策イベントの実施、史跡等の案内板整備などについて協議・検討を行っていく。		
②	事業名	交流事業・地域づくり講演会	決算額	129,269円
	目的	地域の人材発掘、地域づくりに対する地域住民の機運の醸成		
	実施内容	人材発掘のため、アクティブエイジと若者を対象に、それぞれ交流事業を実施した。地域づくり活動計画の策定に向け、地域づくりとは何か、また、地域課題の解決に必要なことは何かなどを学ぶため、地域づくり講演会を開催した。		
	実施時期	10月～12月		
	参加人数	交流事業35人(4回)、地域づくり講演会82人(1回)		
	成果	多くの人材を発掘するための事業の具体化までは至っていないものの、打ち合わせなどに参画した地域住民と地域づくり協議会役員等との交流はできた。		
	評価	事業が具体化できなかったことは、交流事業の進め方などを含め反省が必要となる。講演会では、「地域づくりは自分たちの地域を自分たちの思いを持ってつくりあげていくもの」という原点を振り返ることができ、今後の地域住民による計画の策定に向けた機運の醸成につながった。		
	今後に向けて	地域づくりを進めていくためには、新たな人材を知ることが重要であり、そのきっかけとなる交流事業は地域づくりの中心的な事業の1つであり、引き続き、地域づくり関係団体や地域交流センターとも連携しながら事業の具体化を進めていく。		
③	事業名	コミュニティ活性化事業	決算額	711,557円
	目的	ふれあいや交流を通じた地域コミュニティの充実		
	実施内容	住民どおしのふれあいや交流を通して地域コミュニティを深めていくため、8月には「夏まつり」を、11月には「ふるさとまつり」を開催した。		
	実施時期	平成28年8月13日、11月13日		
	参加人数	延べ3000人		
	成果	新たな実行委員も2年目となり、新旧実行委員の役割分担や引継ぎもスムーズに行われつつあり、円滑な運営ができた。新しいアイデアも出されており、地域の祭りに新しい風を入れることができた。		
	評価	新しいアイデアにより、多くの参加者とのふれあい、交流が図られるとともに、新たな実行委員を中心とした運営を進めるための基盤づくりが図られた。		
	今後に向けて	新たな実行委員による運営を継続していくため、地域づくり協議会との役割分担などを検討するとともに、楽しく関われる会にするため委員同士の交流にも努めていく。		